

③タンク下側から漏れている

●タンクとポンプの接続ホースの接続不良や亀裂などの破損を確認

▶接続不良が確認されたらホースをしっかりとめ直し、ホースバンドでしっかりと固定。

▶ホースの破損の場合は交換。(販売店・メーカーに相談)



④吐出口から漏れている

●噴霧ホースの接続部の緩みの確認

●噴霧ホースのパッキンに異物の付着や亀裂などを確認

▶異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。



作業終了後に必ず行うこと

ちゃんと
できたら
チェック

①薬剤をタンクから抜く

ドレンキャップを緩めると残留薬剤が排出されます。

▶薬剤の製造者、販売者の指示に従い薬剤を処理してください。



②薬剤タンクに水を入れて洗浄噴霧をする

●タンクに清水を入れ噴霧を行い、ポンプ内、ノズル、ホースの洗浄を行う。

▶怠ると弁が固着し噴霧ができない原因になります。弁の固着を除去するには、分解が必要になります。



③混合燃料を抜く、使い切る

●本体を傾け燃料を抜くかオイルチェンジャー等で抜く。

●ガス欠になるまでエンジンをかける。



混合燃料の取扱い

ちゃんと
できたら
チェック

①使い切る **ポイント**



作業終了後に清水による洗浄噴霧運転で混合燃料を使い切る。



②余った場合でも1ヵ月以内に使い切る

万が一余った混合燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管し1ヵ月以内に使い切る。



トラブルを未然に防ぐ



確認
できたら
チェック

動画をご覧ください。ほとんどのトラブルを回避できます。

動画はコチラ



①正しい組立て・燃料づくり・運転操作をすることでストレスなくご使用いただけます。

組立てのポイント 燃料の作り方 エンジン始動テスト

運転操作の仕方



②作業終了後に行うことで、次回快適にご使用いただけます。

作業終了後に必ず行っていただきたいこと



③お困りごとが解決できます。

エンジンがかからない! 噴霧できない! 水が漏れる!



HAIGE ハイガー産業株式会社

お問い合わせ

24時間 365日
無休受付

カスタマーサポートセンターお問い合わせ窓口
<https://haige.jp/c/>



取扱説明書と併用してください。

チェックしてGO!

保存版

このガイドでできること

1 トラブルを未然に防ぐことができる 2 トラブルを自己解決できる

2ストロークエンジン噴霧器

※機種により仕様が異なる場合があります。

使用前の準備

ちゃんと
できたら
チェック



①8mm、12mm スパナ、14mm スパナ又はペンチやプライヤーをご用意

アクセルレバーとグリップを取付ける際に使用。



②混合燃料を作る (作り方は下段参照)

・漏斗(じょうご) ・無鉛レギュラーガソリン
・2ストローク用オイル(JASO FB 級以上)



燃料の作り方

取扱説明書
P.14に掲載



ちゃんと
できたら
チェック

①無鉛レギュラーガソリン[25]に対して2ストローク用オイル[1]の割合で混合燃料を作る



比率を間違えたり、古い燃料を使用するとエンジンはかからない。

ポイント



●25:1 ガソリンオイル割合早見表

ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
100ml	4ml	400ml	16ml
200ml	8ml	500ml	20ml
300ml	12ml	600ml	24ml

エンジン始動テスト

取扱説明書
P.17に掲載



ちゃんと
できたら
チェック

①噴霧ホースは本体から外す



②薬剤タンクに水を入れる

清水を 2L 程度入れます。
空運転は厳禁！



③混合燃料を燃料タンクに入れる

無鉛レギュラーガソリン + 2ストローク
用オイルの混合燃料 (25 : 1)



④プライマリーポンプを押す

燃料を引き出します。
燃料がプライマリポンプに溜まり、
透明の戻りホースに気泡が出たら
OK。

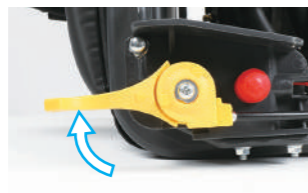


⑤チョークレバーを上にする

エンジンが冷えている場合
▶ 外気温に関係なく、エンジンそのものが冷えている場合で、翌日の再始動などがこれに当たります。



⑥アクセルレバーを全体の 1/4 ~1/2 の位置にする



⑦リコイルスターターを正しく引く

取扱説明書 P.19 に掲載

ポイント



⑧初爆(ブルン！というかかりそうな音)が確認できたらチョークレバーを下にする

取扱説明書 P.20 に掲載

ポイント



⑨再度リコイルスターターを引くとエンジンがかかる

アクセルレバーを徐々に上に上げると吐出口から水が出る。



エンジンがかからない

確認が
できたら
チェック

症状・原因	対処	確認が できたら チェック	
混合燃料の割合が間違っている	25 : 1 の混合燃料を正しく作り交換	燃料の作り方は P.1 参照 燃料の抜き方は ▶ 取扱説明書 P.24 に掲載	✓
古い燃料を使用している	新しい燃料と交換		✓
燃料が入っていない	燃料を入れる		✓
チョークレバーを上げずにリコイルを引いている	チョークレバーを上にする 初爆が確認できたらチョークレバー下げてリコイルを引く(エンジン始動テスト⑧参照)		✓
初爆を聞き逃し、リコイルを引き続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり状態」のため、点火プラグ、ピストン内部を乾かす ▶ 取扱説明書 P.31 に掲載		✓
点火プラグ不良・キャップの接続不良	点火プラグ先端と接続部分の確認と火花の確認 ▶ 取扱説明書 P.27 に掲載		✓
プライマリーポンプに燃料が来ていない	燃料ホースの詰まりや亀裂	清掃・交換(販売店・メーカーに相談)	✓
	プライマリーポンプに亀裂	交換(販売店・メーカーに相談)	✓
	燃料タンク内の錆や異物の詰まり	清掃	✓

水が出ない(噴霧できない)

確認が
できたら
チェック

①吐出口から水が出るか確認

吐出口に噴霧ホースをつなぐ前にエンジンをかけ、水が出るか確認。

▶ 水が出ればノズルとグリップの接続に問題があります。



②ノズルとグリップの接続方法が間違っていないかを確認



1 ノズルのナットを指で止まるところまで時計回りに回します。
2 グリップを取付け、回るところまで時計回りに回します。
3 グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナやペンチ等で締付けます。

NG OK



③薬剤による弁の固着

使用後の洗浄を怠ると薬剤が固まり弁が固着し、水が出なくなる。

ポイント



水が漏れる

確認が
できたら
チェック

①水がどこから漏れているか確認



②タンクドレンから漏れている

- キャップが閉まっているか確認
- パッキンの確認

▶ 異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

